

平塚市遺跡分布地図 変更増補

—平成20年2月～平成29年4月—

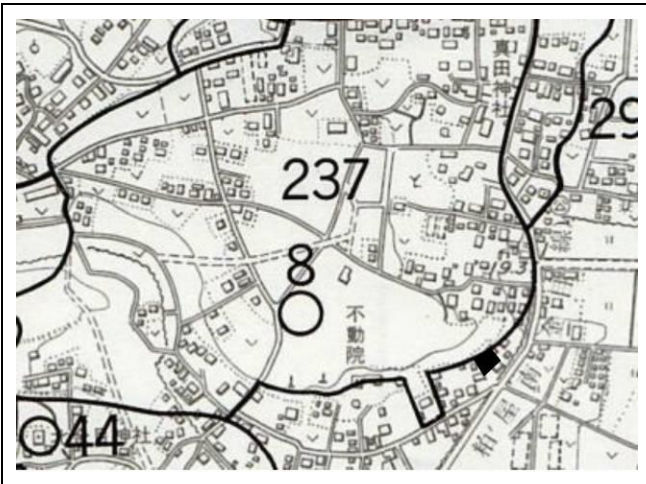
「埋蔵文化財包蔵地」(まいぞうぶんかざいほうぞうち)とは、地下に文化財が埋蔵されている土地のことを言い、「遺跡」とほぼ同じ意味で使われます。

遺跡分布地図上に示されている範囲は、埋蔵文化財の存在が確認されている範囲、あるいは包蔵されている可能性が高いと認識されている範囲で「周知の埋蔵文化財包蔵地」として神奈川県教育委員会の埋蔵文化財包蔵地台帳に記されているものです。範囲の把握は過去の発掘調査、試掘確認調査、分布調査や当該地の地形等のデータに基づいていますが、常に最新の調査成果を取り入れて範囲の変更増補を行っています。

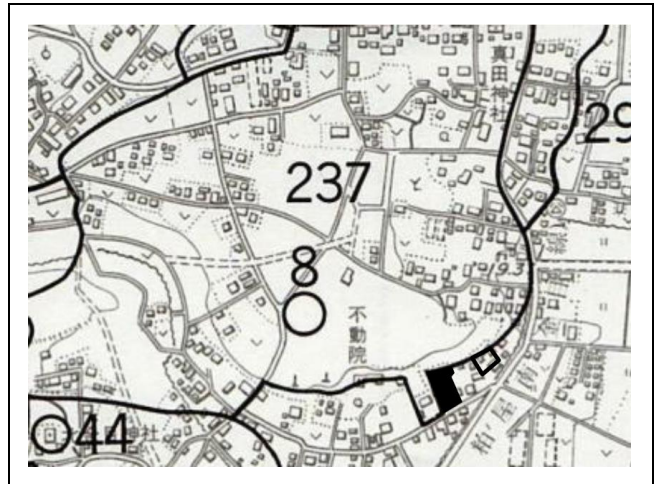
平塚市では、遺跡分布地図を刊行し埋蔵文化財包蔵地の周知を図っていますが、現行の遺跡分布地図(平成20年2月作成)以降の変更箇所についてご案内します。

埋蔵文化財包蔵地 変更増補一覧

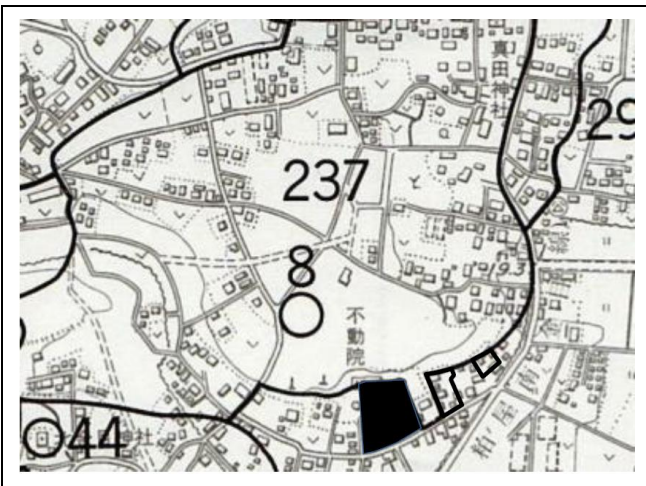
	遺跡No.	遺跡名	所在地・変更内容	変更日
1	237	きたかなめつかごしいせき 北金目塚越遺跡	北金目所在。中世・近世の小穴群などの遺跡の広がりが確認され拡大	平成 21. 9. 11
2	237	きたかなめつかごしいせき 北金目塚越遺跡	北金目所在。中世・近世の溝などの遺跡の広がりが確認され拡大	平成 22. 3. 31
3	237	きたかなめつかごしいせき 北金目塚越遺跡	北金目所在。近世以前の整地層などの遺跡の広がりが確認され拡大	平成 24. 9. 14
4	190	しのみやごうどいせき 四之宮神戸遺跡	四之宮所在。奈良・平安時代の住居跡などの遺跡の広がりが確認され拡大	平成 25. 6. 14
5	213	さんのう B いせき 山王 B 遺跡	四之宮・西真土所在。奈良・平安時代、中世の遺跡の広がりが確認され拡大	平成 25. 9. 25
6	9	すみぞめいせき 墨染遺跡	大神所在。中世の遺跡の広がりが確認され拡大	平成 26. 6. 5
7	211	かじやはら A いせき 梶谷原 A 遺跡	西真土所在。奈良・平安時代、中世の遺跡の広がりが確認され拡大	平成 26. 6. 23
8	135	やうじいせき ヤウジ遺跡	土屋所在。奈良・平安時代の遺物の散布が確認され拡大	平成 27. 11. 27
9	237	きたかなめつかごしいせき 北金目塚越遺跡	北金目所在。近世以前の整地層などの遺跡の広がりが確認され拡大	平成 27. 12. 31
10	221	さめかわいせき 鮫川遺跡	西八幡・東八幡所在。奈良・平安時代の溝などの遺跡の広がりが確認され拡大	平成 28. 1. 14
11	9	すみぞめいせき 墨染遺跡	大神所在。中世の遺跡の広がりが確認され拡大	平成 29. 3. 21



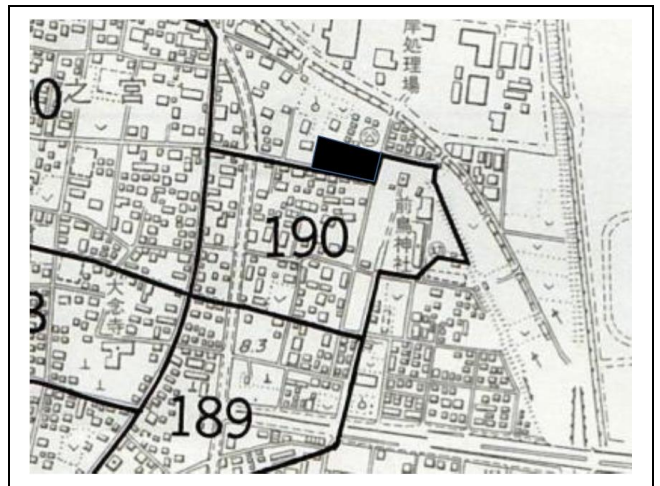
1 No.237 北金目塚越遺跡(スミ部拡大)



2 No.237 北金目塚越遺跡(スミ部拡大)



3 No.237 北金目塚越遺跡(スミ部拡大)



4 No.190 四之宮神戸遺跡(スミ部拡大)



5 No.213 山王B遺跡(スミ部拡大)



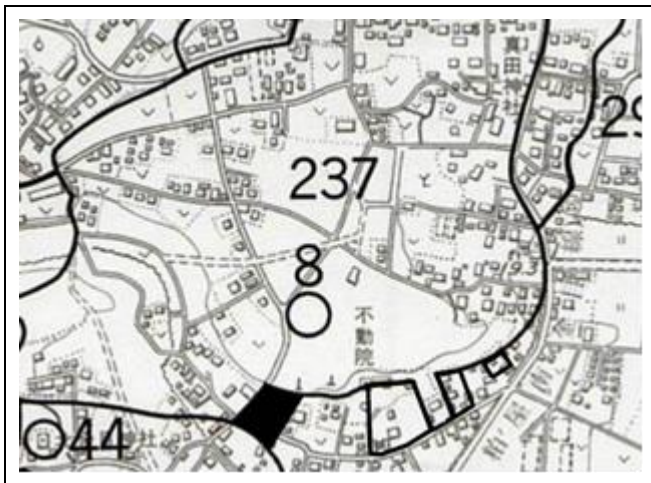
6 No.9 墨染遺跡(スミ部拡大)



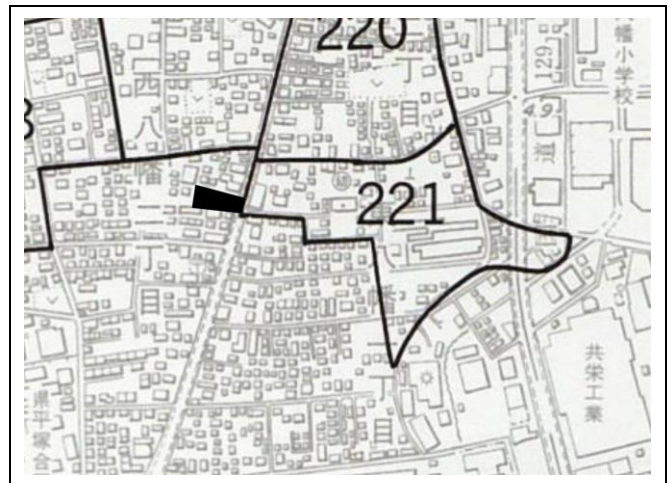
7 No.211 梶谷原A遺跡(スミ部拡大)



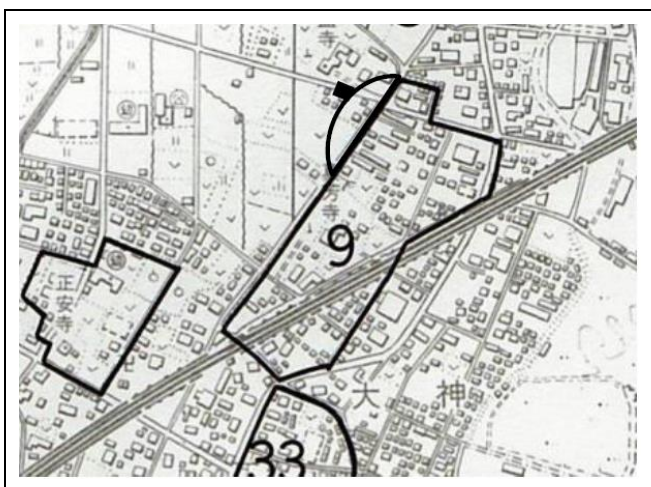
8 No.135 ヤウジ遺跡(スミ部拡大)



9 No.237 北金目塚越遺跡(スミ部拡大)



10 No.221 鮫川遺跡(スミ部拡大)



11 No.9 墨染遺跡(スミ部拡大)